

「PPAP」ってあれでしょ？ピ〇太郎のあれでしょ？」いいえ、違います。メール受信して非常に面倒臭い、まったくセキュリティ的に意味が無いと指摘され続けている”パスワード付き Zip ファイル”が、今回の PPAP 問題です。

昨年、内閣府及び内閣官房より、中央省庁における「パスワード付き Zip 暗号化」を廃止することが発表されました。パスワード付き Zip ファイルは利便性とセキュリティ面で課題があるとされており、代替案としてファイル共有サービスを利用することとされました。実に日本人らしい意味が無いと判っていてもやめられず、海外では全く意味が無いとかなり以前から指摘のあった PPAP 問題が遂に廃止される事となりました。

じゃあどうすればいいの？

弊社が最もおすすめ解決策は、弊社がご紹介している「DropboxBusiness」であれば、“Transfer”機能の利用です。詳細な機能は次月号でご紹介予定ですが、安全に大容量ファイルを転送する機会が多い企業様では必須と言えるサービスです。2021 年は意味の無い PPAP 的なファイル送信は止めて、「Transfer」や「OneDrive」のパスワード付ファイル共有 URL 送信などをご利用ください。

Password 付き Zip 暗号化ファイルをメールで送ります

Password を次のメールで送ります

A ん号化(暗号化)します

Protocol(プロトコル=手順)

弊社おすすめ『解決策』

おすすめ

Dropbox 「Transfer 機能」

Dropbox Transfer でサイズの大きなファイルをすばやく送信しましょう

転送を作成

✓ 大容量ファイルをいろんな人に届けます

転送パッケージなら、Dropbox アカウントを持っていない相手にも 100 MB までのファイルを送信できます。

✓ 配信ステータスを確認

転送パッケージがダウンロードされたかどうかと、閲覧回数を確認できます。

✓ ファイルはそのまま保持可能

転送パッケージではファイルのコピーが送信されます（送信相手は元のファイルにアクセスできません）。

おすすめ

OneDrive

※無料のファイル転送サービスは、広告からのマルウェア感染リスクだけでなく、2019 年に発生した「宅ふある便の大規模な個人情報の流出」事件があるなど法人での利用は弊社ではお勧めしておりません。

社員紹介

濱口裕汰

01

皆さんにお伝えしたい最近取り組んでいる仕事

工事現場のリモート検査の仕組みの導入をさせていただくことが多くなりました。コロナにより、現場に集まることが容易ではなくなっているご時勢ですので、現場の DX 化を推進できるよう日々ノウハウを蓄積中です。

弊社ではウェアラブルカメラのような最新機器を体験することもできますので、お気軽にご相談ください。



Yuta Hamaguchi

名前： 濱口裕汰（はまぐち ゆうた）

年齢： 26 歳

出身： 松阪市

02

皆さんにお伝えしたい個人的な話題

昔から食べることが大好きで、最近では大食いにチャレンジ中です。二見にあるワスケさんで、スーパー天津炒飯にチャレンジしてきました！残念ながら、あと一步のところで完食することは出来ませんでしたが、コロナが終わったら、リベンジに行ってみたいです。



要回覧

確認印

COMDEC

Imadoki

2021 March 3

vol.71

煩雑な契約業務。

依頼

レビュー

製本

郵送

保管

作成

合意

押印

締結

 NINJA SIGN

1つで契約を簡単に。

電子契約の利用が加速しています..!!

最近の悩みは花粉症とお腹周りのお肉 花粉とコロナ禍で出不精になったせいか、すっかりデブってきている樋口です。肥満理由を真面目に考察してみたら、DX が進んだ事で外出が減り運動量が減った事が原因でした。

Zoom や Teams による Web 会議が増えたことで、移動によるカロリー消費が減っているのは間違いありませんが、「紙」のお届け（見積書 / 契約書）、受け取り（発注書 / 印鑑証明 / 登記簿謄本）が無くなったのも影響し全然外出しなくなりました。

更に移動を減らそうと、弊社で昨年から更に取り組んでいるのが『電子契約』です。『電子契約』は、昨年の緊急事態宣言から大手企業がリモートワークに対応するため導入数が激増しましたが、弊社でも既に試行運用を 1 年以上続けており多くのお客様に御利用いただきました。

国内の電子契約市場は、大企業を中心に弁護士ドットコム「CloudSign」が一番人気なのですが、費用が高い！そして契約書 1 通毎に 200 円課金されては中小企業では気軽に使えません。そこで国内 3 番手といわれる「NINJA SIGN」と昨年末にパートナー契約を締結し、先日お客様との「秘密保持契約書」を第一号として利用を開始いたしました。お客様向けには、「契約書」「発注書」「申込書」「秘密保持契約書」、社内向けは「労働条件通知書」など利用範囲は広く、『電子契約』は全ての企業で利用価値の高いサービスとなりそうです。

契約書 1 通にかかる壮大な時間（印刷・製本・提出・回収・保管）を費用換算すればすぐに元が取れるのが『電子契約』サービス。『電子契約』が中小企業間の取引で当たり前になり、生産性向上のお役にたてるよう、まずは弊社での利用・活用を更に進めてまいります。

COMDEC

株式会社コムデック

〒516-0007 三重県伊勢市小木町 484-1
TEL 0596-31-1100 HP www.comdec.jp

COMDEC

公式アカウント





COMDEC

公式アカウント





代表取締役社長 樋口 雅寿

ペーパーレス化 & 電子サイン導入で 業務効率をアップさせた



クレーンメンテ広島さまの事例をご紹介します！

リモートワークという新しい働き方が急速に普及する今、ペーパーレスによる情報管理の必要性はますます高まっています。

株式会社クレーンメンテ広島さまも紙での情報管理に限界を感じ、クラウド型の業務管理ツール kintone を導入することでペーパーレス化に成功！

業務関連の情報をデジタルデータとして蓄積することで、業務効率が大幅に改善されました。

さらに、電子サインも導入することでお客様にとってうれしい効果が！今回は、そんな kintone 導入事例をご紹介します！

01

まずは現在の業務の整理から。クラウド活用イメージと効果を具体的にイメージ

広島県にて天井クレーンの保守点検や修理、クレーンの製造・設置や部品販売・レンタルを行われている株式会社クレーンメンテ広島さま。

ペーパーレスを前提とした業務効率化を目的として、「どのように実現できるのか」をその目で確かめるため、はるばる広島から伊勢までいらしてくださいました。

株式会社クレーンメンテ広島さまでは、各重機のメンテナンス業務を紙で管理されていたらしいいました。

紙中心の情報管理では、どうしても「手書きで転記する時間コスト」「転記ミスによるリスク」が発生してしまいます。



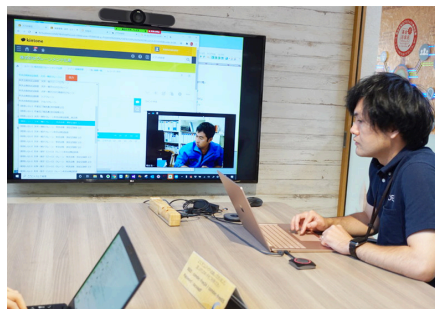
実際の書類をお持ちいただき、業務の流れと、どのタイミングでどの資料に記入を行っているかをヒアリング。さらに、ホワイトボードを活用して現状、理想、今後の IT 化・クラウド化した際の業務の流れを整理していきました。



02

基本となる 9 つのアプリを作成、キングファイルを一掃

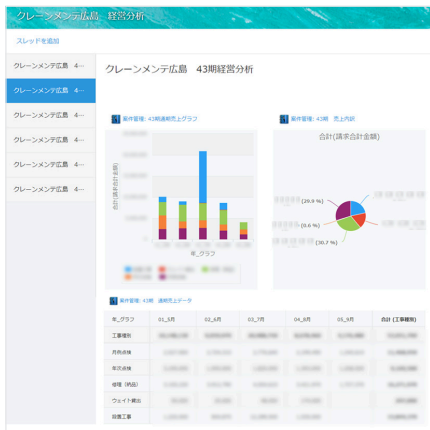
お越しいただいた際の打合せを元に、仕事に必要なすべての情報が kintone 上で確認できるように 9 つのプロトタイプアプリを作成。オンラインで打合せをしながら、より現場の方が使いやすいように修正を重ねていきました。



時間をかけて 1000 件以上に上るクレーン情報や顧客情報を kintone に移行いただき、結果として社内のスペースを圧迫していた大量のキングファイルも、社内サーバーに溜まり続けるエクセルのファイルも不要になりました。スマホや PC さえあれば、いつでもどこでも必要な情報を確認できる体制となったのです。



移行した情報を元にクレーンのメンテナンス・点検記録も kintone に登録していたことで、過去の点検履歴をすぐに参照、次回点検時に活用できるようになりました。



さらに、登録いただいた情報から自動で集計を行い、経営判断を行うための情報を一元管理することが可能です。

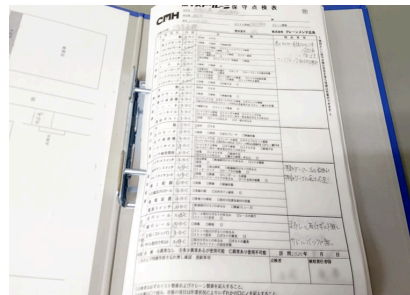
03

点検時の「面倒なサイン」から脱却したい！ ペーパーレス化の次は電子サインにチャレンジ

社内に蓄積した紙データを kintone に移行することに成功した株式会社クレーンメンテ広島さま。

お客さまの基本情報はもちろん、点検履歴なども kintone 上でチェックできるようになったため、社内業務のほとんどはペーパーレスで完結するようになりました。

しかし、クレーンの点検完了の書類だけはクレーンの台数分お客様の直筆のサインをいただいていたため、紙で保管をしていらっしました。

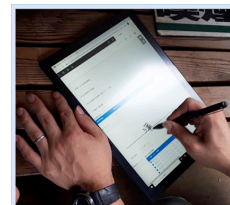


点検書類へのサインを電子化することで、株式会社クレーンメンテ広島としては紙で書類を保管する必要がなくなります。

さらに、タブレットに一度サインをしてもらっただけで全ての書類に署名が完了するため、お客様に何回もサインをしてもらう必要がなくなるのです。

お客様によっては何十台ものメンテナンスがあるため、サインをする時間を削減できるのは大きな魅力でした。

kintone 化したクレーン点検アプリに電子サイン機能をカスタマイズで追加し、電子サインでのやりとり慣れることからスタート。電子サインによってタブレットへのサインひとつで、お客さまのクレーン点検記録全てにサインが反映されるようになり、今ではメールでお客さまにそのまま書類を送ることも可能です。



点検表は法令で 3 年間保管する必要がありますが、データでの保存が可能であることを官公庁に確認し、お客さまに説明をすることでペーパーレス化を促しているそうです。

電子サインを導入したことにより、お客様からも「この会社は時代に合った形で発展している！」というポジティブな評価を得ることができました。

今まで、当たり前のように行ってきた「すべての書類に一枚ずつサインをいただく」という業務。

「面倒くさいな」と感じながらもなかなか改善できないのが現状……しかし、そこであきらめず、社内で発生している時間と労力を奪う作業を、ぜひ IT の力で改善してみませんか？



経営者様向け情報

早期申請は高採択率!? IT 導入補助金 2021

先月号から同封させていただいております中小企業庁の「IT 導入補助金 2021」につきまして、ご利用を検討いただきましたでしょうか？
補助金利用に際して気になるのが採択率ですが、IT 導入補助金だけでなく、小規模事業持続化補助金も回を重ねるごとに採択率が下がっていく悲惨なパターンになっており、今年も採択されるには早期着手がおススメと言われています。

今回も早ければ 3 月中に IT 導入補助金一次募集スタートとなりそうです。

他の補助金や助成金と比べてお客様の事務負担が格段に少なく、申請しやすいのが IT 導入補助金ですが、弊社と連携している行政書士の事務負担も大きく、早期に対応できる件数に限りがございます。

ご利用をご検討のお客様につきましては、ご検討いただき担当者にお声がけいただきますようお願い申し上げます。

2021
IT 導入補助金

低感染リスク型ビジネス枠における各補助事業の拡充内容

補助上限・補助率	通常枠	低感染リスク型ビジネス枠
ものづくり補助金 (設備導入、システム構築)	1,000 万円 1/2(小規模 2/3)	1,000 万円・2/3
持続化補助金 (販路開拓等)	50 万円・2/3	100 万円(※)・3/4 ※感染防止対策費も一部支援
IT 導入補助金 (IT 導入)	450 万円・1/2	450 万円(※)・2/3 ※テレワーク対応類型は 150 万円